

平成 28 年（2016 年） 9 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（ 2 日目）

平成 28 年 9 月 27 日（火）

割当時間（答弁を除く）

なはの翼	
【無所属 G】	25 分
日 本 共 産 党	25 分
自 民 党	20 分
新 風 会	20 分
無 所 属 の 会	10 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	屋 良 栄 作 (な は の 翼 【無所属 G】)	1 airbnb（エアービーアンドビー）について 2 モノレールの延長について 3 環境美化について 4 J 1 対応のサッカー場建設について 5 那覇軍港の移設について 6 旅客船第 2 バースについて	airbnb（エアービーアンドビー）の現状はどうなっているか (1) モノレールの延長となれば、那覇市内の交通渋滞状況はどの程度緩和されるのか (2) 観光客のレンタカー基地をつくるという話はどうなっているか。つくった場合の効果はあるか 本市のごみのポイ捨て防止による環境美化促進条例と路上喫煙防止条例の実施状況はどうなっているか J 1 対応のサッカー場建設の公約はどうなっているか 那覇軍港の移設について話し合いはどうなっているか。進捗しているか 旅客船第 2 バース建設に向けた進捗状況はどうなっているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 龍柱についての付帯決議について 8 会議録の無許可の削除について	付帯決議の進捗状況はどうなっているか 当局が依頼していない会議録が原因不明のまま勝手に削除されたことについて (1) 当局としても当事者であるので見解を伺う (2) 会議録の重要性について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成 28 年 9 月 27 日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	瀬 長 清 (な は の 翼 【無所属 G】)	1 福祉行政について	沖縄県子どもの貧困対策推進基金を活用した那覇市のこども貧困対策事業について 沖縄県では、9月補正予算で沖縄県子どもの貧困対策推進基金を財源とした総額2億7,122万円の事業を盛り込んでいくことを明らかにした また、同時に子育て世代包括支援センターのモデル事業を実施するとしている そこで、当該事業に対する当局の取り組みについて、所見を伺う (1) 沖縄県こども貧困対策推進基金を活用した事業として、那覇市が今年取り組もうとしている事業の内容と予算額について (2) 来年度「子育て世代包括支援センター」のモデル事業が、那覇市で実施されるよう取り組んで行くことが必要と考えるが、当局の所見を伺う
		2 健康行政について	B型肝炎ワクチン接種に対する支援について 今年10月から実施される、B型肝炎ワクチン接種において、今年4月に生まれた子供については、一部定期接種ではなく、自費接種になる可能性が高いことから、B型肝炎ワクチン接種への支援を2歳未満までとするようにとの要望があるが、これに対する当局の所見を伺う (1) 当局は、B型肝炎ワクチン接種の現状について、どのように認識しているか (2) B型肝炎ワクチン接種に対する支援の要望について、どのように対応していくのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	坂 井 浩 二 (な は の 翼 【無所属G】)	奨学金と生活 保護費の関わり について	本市における生活保護を受けていた母子家庭の娘2人が、公立高校の時に借りた貸与型奨学金を「収入」とみなし、母親に生活保護費の返還を求めている事案全般について (1) 一連の経緯について伺う (2) 返還請求額の内訳について伺う (3) 厚生労働省通知の内容を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	湧 川 朝 涉 (日本共産党)	1 参議院選挙の結果について 2 辺野古埋め立て・新基地建設について	(1) 沖縄選挙区では、新基地を押し付ける、安倍自公政権の現職閣僚・沖縄担当大臣が、「建白書」実現を目指す「オール沖縄」の伊波洋一候補に、全県で10万6,400票差、那覇市で3万407票差で大敗した。市長見解を問う (2) 今回の参議院選挙は、32の改選1人区の選挙区すべてで、歴史上初の野党共闘が成立。うち激戦区の11選挙区で野党統一候補が勝利した。市長の見解を問う (1) 福岡高裁那覇支部の「和解勧告文」も、総務省の国地方係争処理委員会も、国と県との「真摯(しんし)な話し合い」を求めているにもかかわらず、7月22日、政府は、話し合いによる解決を放棄し、石井啓一国土交通大臣(公明党所属)が、県を一方的に提訴する暴挙を行った 16日、「辺野古違法確認訴訟」の判決について、市長の見解を問う (2) 国際自然保護連合(IUCN)の勧告について 8月30日、国際自然保護連合(IUCN)は、米軍普天間飛行場の名護市辺野古新基地建設に伴う、県外土砂搬入をめぐり、徹底した外来種混入防止対策を講じるよう、日米両政府に対する勧告を採択した。市長の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 高江オスプレイパッドの建設について	(1) 琉球新報が8月2日までに新たなヘリパッドが建設される東村高江区、国頭村安波区でアンケートを行った。ヘリパッド建設の賛否については、高江で「反対」が80.0%で「その他(どちらでもない、分からないなど)」の20.0%を大きく上回った。賛成は1人もいなかった。安波では「反対」が52.5%で、「賛成」5.0%と「その他(同)」42.5%を合わせた値を上回った この地元の民意と内外の自然保護団体の声を無視して、世界的にも貴重なやんばるの森を分断破壊し、水源地と生活環境、自然環境を壊すヘリパッド建設は言語道断である。市長の見解を問う (2) 東村高江周辺の米軍北部訓練場ヘリパッド建設工事で、県公安委員会は高江ヘリパッド建設工事で500人の機動隊を県外6都府県公安委に要請。道路を封鎖し、反対行動を強制排除する警察の対応は常軌を逸している。そればかりか、さらに県警が警察車両に民間の作業員を乗せ、工事現場入り口まで運んでいたことがわかった。警察法に定められた警察の責務から逸脱していることは明らかである。見解を問う (3) 県民と観光客の飲料水、工業用水などの水資源確保を担う命の水がめ、ダムが北部地域の米軍基地内にある。その状況と那覇市の使用割合を問う (4) 宜野座村・大川ダムでのヘリ墜落事故の事例に見られるように、水源地での事故は水源地汚染、生活・自然環境に重大な影響を及ぼす。水源地を米軍の訓練場、オスプレイやヘリの訓練場にしていることは、県民の飲料水の確保、安全面からも大問題である。見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(5) 県民・観光客の飲料水の安全、安心確保の面からも水源地での米軍訓練は許されない。東村高江地区周辺への新たなヘリパッド建設は、水源地汚染が懸念され、世界遺産への登録を目指している世界の宝のやんばるの森の生物多様性を破壊する。見解を問う
		4 沖縄関係予算と米軍基地のリンク論について	(1) 沖縄振興特別措置法の趣旨と目的について、見解を問う (2) 安倍政権の関係閣僚が沖縄関係予算と米軍基地はリンクすると公然と述べている。米軍基地とのリンク論は、沖縄振興特別措置法の原則をゆがめるものである。見解を問う (3) 沖縄振興特別措置法は、振興策を米軍基地の維持装置にするのではなく、振興の最大の阻害要因となっている米軍基地をなくし、那覇新都心のように、自立できる沖縄づくりの振興策へと転換すべきである。見解を問う
		5 国保財政について	沖縄県内の国保財政の現状と県移行（平成 30 年度）後における財政予測について (1) 沖縄県と全国の一人当たり赤字額の推移 (2) 沖縄県の市町村国保の調定額 (3) 沖縄県の医療費の推移

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 生活保護行政について	(1) 生活保護法の目的（第1条）について (2) 子どもの貧困率と17歳以下の生活保護受給割合の全国比について (3) 県の「子ども貧困計画」における、貧困問題を改善・解消する計画の基本方向について (4) 沖縄県の高校・大学進学率と生活保護世帯の状況について (5) 生活保護の子どもが借りた貸与型奨学金を、那覇市が「収入」とみなし、生活保護費の返還を求めていることについて ① 生活保護の生業扶助にある「高等学校等就学費」として、教科書購入費、資格取得経費、部活動費、大学受験費は認められるべきではないのか。見解を問う ② そのような用途に充てられた、奨学金などは、生活保護法に鑑みて、収入と認定すべきではない。見解を問う (6) 安倍自公政権が行った史上最大（平均6.5%、最大10%）の生活扶助基準の引き下げの内容と影響について
		7 ハーゲラ川の緊急対策工事について	8月議会が流会し、審議できなかった、ハーゲラ川の緊急対策工事がある。その暗渠の上は、多くの市民県民の生活道路としても利用されており、安全確保のためにも、切実な要望であるこれまでの経過と事業内容を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	翁 長 大 輔 (日本共産党)	1 子どもの貧困対策について 2 保育行政の充実について 3 子どもの医療費助成について 4 第一牧志公設市場再整備事業について	(1) 那覇市こどものみらい応援プロジェクト推進基金条例案について問う (2) 就学援助の実態と、今回の補正予算増の目的を問う (3) 沖縄子供の貧困緊急対策事業で配置されている支援員について、各課の成果と課題を問う (4) 子どもの居場所づくりについて、それぞれの現状と課題を問う (5) 県都で中核市となった那覇市において、児童相談所の設置が切実に求められている。以下質問する ① 児童相談所における那覇市民の利用状況について問う ② 児童相談所の役割と本市の連携について問う ③ 中核市の権限について問う (1) 本市における待機児童解消計画を問う (2) 認可外保育園への支援について問う 今回の「子ども医療費助成条例改正」の目的と内容について問う 2014年度に取りまとめた第一牧志公設市場再整備基本構想において、施設の将来像は、「市民・県民・観光客の交流と学びをはぐくむための那覇のうふまち」となっている。再整備事業を進めるに当たり、本市と、市場事業者や周辺事業関係者、地域住民等とのこれまでの合意形成の経緯について問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 上間小学校及び幼稚園の改築工事について	8月臨時議会が流会し、審議できずに、市長の専決処分となった1つに、上間小学校及び幼稚園の改築工事がある。改築は、児童と保護者の切実な要望である。入札不調を乗り越えて、今回、入札が成立したが、事業内容とこれまでの経緯を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	金城敏雄 (自民党)	文化財課における不適正な事務処理について	(1) 文化財報告14件刊行(印刷費2,300万円)納品がないにもかかわらず全額が支払われていた経過など、業者発行の証憑(納品書・請求書)、印刷請書契約書による権利と義務について なぜ不適正な事務処理の印刷を刊行する方針になったか経緯を伺う(財政負担が生じないとすれば契約の不履行(違法)で公金を返還すべきと思うが)について伺う (2) 今回の13件については、印刷請負契約書・印刷仕様書とおりに納品、検収を行ったか、また、1件の庁舎内印刷室での刊行物にかかった経費について伺う (3) 印刷請負契約書の契約締結について 那覇市(市長)・那覇市教育委員会(教育長)と業者との間で契約を締結が行われているが、那覇市教育委員会(教育長)の管理監督責任者としてどう考えるか伺う (4) 那覇市職員分限懲戒審査委員会での処分内容審査結果、市長へ答申について伺う(市長は、市民に対する説明責任をどのように認識しているか) (5) 会計管理者に伺う 法令及び那覇市の諸規則に照らして、今回の公金支出のあり方に関して歳入・歳出審査(チェック)については、検収品など確認をするか、業者の納品・請求を確認だけで公金を支払うかを伺う(再発防止をどう考えるのか)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(6) 監査委員に伺う 文化財報告 14 件未刊行（不適正な事務処理）の財務事務の処理について、今後の再発防止策・監視対策について伺う（監査制度の意義） 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長、代表監査委員

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	栗 國 彰 (自 民 党)	モノレール行政について	(1) 沖縄県は2005年ユニバーサルデザインを策定している。観光立県と言いながら、今回のモノレール駅の故障問題は観光客やいつも利用している高齢者、障がい者いわゆる交通弱者に配慮がない。緊急性の認識が不足し、利用者への配慮が欠けていたと謝罪しています。管理責任者として今回の事に対する市長の見解を問う (2) モノレール会社と那覇市とメーカーとの契約関係はどうなっているか (3) 国、県、市モノレール社は施設管理を一元化することで、保守点検・修繕といった一連の対応に対する予算支出の仕組みを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	奥 間 亮 (自 民 党)	那覇軍港移設 について	那覇市と浦添市の間には那覇軍港移設の課題があり、現在様々な議論がなされている 平成28年8月23日に開催された「沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会通常総会」において、松本哲治浦添市長と久高将光副市長が交わした議論の中で「人間屁理屈を言っては駄目です」旨、久高副市長が発言している。その発言の経緯と真意を詳しく伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	金 城 眞 徳 (新 風 会)	1 都市計画行政について	宿泊施設の整備に着目した容積率緩和制度の創設の背景と概要について伺う
		2 こども行政及びコミュニティ行政について	新文化芸術発信拠点施設が予定されている久茂地地域は、まちづくりを進める中で今、暫定的に移転している久茂地児童館を改めて設置することや、地域コミュニティに大きく寄与する公共施設の設置を強く要望している その取り組み状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	高 良 正 幸 (新 風 会)	1 なは市民協働大学院について	(1) なは市民協働大学院事業の目的を伺う (2) 平成27年度の内容と実績を伺う
		2 第5次那覇市総合計画策定について	(1) 第5次那覇市総合計画事業の策定方針を伺う (2) なは市民協働大学院による市民提案の策定状況を伺う
		3 環境衛生行政について	(1) 動物愛護政策について ① 動物愛護のための普及啓発事業の現状を伺う ② 平成28年度動物愛護週間におけるイベント事業を伺う (2) ハブ対策の現状と取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問(2日目) 平成28年9月27日(火)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
11	前 泊 美 紀 (無所属の会)	1 市長の政治姿勢について 2 子どもの貧困対策について 3 第5次総合計画の策定について 4 那覇市民会館について	(1) 城間幹子市長就任から、11月で2年を迎える 市長は選挙公約を果たすため、どのように取り組んでいるか。特に、その財源の確保についての取り組みも合わせて問う (2) 犯罪被害者支援について、市長の考えを問う (1) 本市における「子どもの貧困対策」の中で、児童館や公民館など既存の公共施設をどのように活用しているか (2) 国や県が促進している「子育て世代包括支援センター」設置について、本市の見解を問う (1) 第5次総合計画策定の進捗を問う (2) 那覇市総合計画策定条例について、以下を問う ① 同条例に定めている「市民意見の反映」をどう活かしているか ② 同条例に基づいた手続き等を示す方針等の策定について問う 那覇市民会館の耐震診断調査結果と今後の市の方針を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長